

1 腺癌類似の尿路上皮癌細胞 1 例について
2 の検討

3
4 ○吉岡将之 田中雅美 関口哲成 藤沢一哉 志賀淳治
5 (上尾中央医科グループ 津田沼中央総合病院)

6
7 【はじめに】尿沈査での尿路上皮細胞は、細胞質に
8 特徴が現れると言われている。細胞診で尿路上皮癌
9 と診断されたものの一部に腺癌を疑う異型細胞も混
10 在していた症例で、尿沈査によって細胞質の表面構
11 造から尿路上皮細胞由来と確認できたので報告する。

12 【症例】72 歳男性、H21 年 12 月健診にて PSA 異常を
13 指摘されたため当院泌尿器受診、細胞診で class V、
14 病理組織診断で、左尿管口に尿路上皮癌 urothelial
15 carcinoma (UC) G2 が見られたため左腎尿管全摘術
16 施行。その後、生検、PSA 及び細胞診にて follow up
17 を実施した。生検、細胞診には異常は認められな
18 かったが、PSA の異常は続いていた。H25 年 1 月細胞診
19 で class V・尿路上皮癌であった。しかし、変性の
20 強い核偏在、類円形の腺癌に類似した異型細胞も見
21 られたため、前立腺ないし膀胱の腺癌の可能性も否
22 定できず、尿沈査にてその細胞の細胞質表面構造を
23 確認したところ、尿路上皮細胞の表面構造の特徴を
24 呈していた。その後、膀胱生検を行い、病理結果は
25 UC G3 pTa であった。

26 【おわりに】
27 今回、尿中に見られた腺癌に類似した異型細胞の由
28 来の確認は、尿沈査における細胞質の表面構造も参
29 考所見として重要になった。尿沈査は、細胞診で見
30 られる固定や染色によるアーティファクトが少ない
31 ため、異型細胞の細胞質の表面構造から異型細胞の
32 由来を容易に確認でき、診断の一助になると考える。

33 連絡先 047-477-5766
34
35
36
37
38
39